回覧

ボランティア・市民活動情報紙 ぺんぎん

え：よしだみずほ

1月号

No.222

2017年1月11日

《 発　行 》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）
〒871-0021　中津市沖代町1-1-11　TEL 23-2095　FAX 24-7682
《ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ》http://www.nakatsu-s.or.jp/　E-MAIL　volunteer@nakatsu-s.or.jp

グループ活動紹介～中津耶馬渓アカデミアの会～

２７周年を迎えました！！

会員数》６６名
設　立》昭和６３年1月
代　表》矢野 すみ子
連絡先》５６-２４０６

事務局のみなさん

２５周年誌

アカデミアの会は、昭和63年に発足し見守り活動、施設慰問や清掃活動などのボランティア活動と生涯学習として地域の歴史を語り継ぐ郷土史研究などをおこなっています。高年大学などの生涯学習の場面を通じて福祉ボランティア活動、研修活動、交流活動へとつながり、地域の支え合いづくりの基礎が出来ました。

合併により活動が無くなっていく市町村が多い中、２５年以上も活動が続いてきたのは、発足当時から交通安全、郷土史、研修、スポーツ、ふれあい、ボランティア等の専門部会があり、骨組みがしっかりとしていたことが大きいように思います。また、温かい地域づくりを目標に、自らが学んだことを自分のためだけでなく、地域に役立てることが出来るよう、前向きに見聞き、出向き、楽しく活動されています。一つひとつの活動は地道なものだけれども、人と人とのつながりを大切にしてきたからこそ今があるとお話して下さいました。

平成２７年４月に旧中津市の会員と活動が一緒になるのを機に、耶馬渓での２５年の活動をまとめた記念誌が出来上がりました。小学校児童とのふれあい学習や老人クラブとの交流、意見交換など活動はますます広がっています。

≪ 会からのメッセージ ≫

旧中津市の方々と活動が一緒になり、名称を耶馬溪町アカデミアの会から「中津耶馬溪アカデミアの会」としました。地域福祉ボランティア活動や生涯学習に関心のある方は是非、一緒に活動しませんか？関心のある方はご連絡ください。

グループ活動紹介　給食ボランティアグループ『宮永すみれ会』

会員数》　１３名
活動日》　第1・３月曜日
活動場所》　豊田公民館
対象場所》　上宮永４丁目

今月のおすすめの一品【炊き込みご飯】

材料（４人分）
●米・・３合　●鶏肉・・８０g　●干し椎茸・・１０g　●ごぼう・・・1/２本
●人参・・1/３本　●青豆・・少々
《調味料》●砂糖・・小2　●しょう油・・大1　●薄口しょうゆ・・大３
●ほんだし・・小1　●みりん・・小1

手順① 米は洗って30分おく。
手順② ごぼうはささがきにし、水につけあく抜きをする。椎茸は水で戻す。人参、鶏肉は小さく切る。調味料と水を入れて炊く。
手順③ ②の具をザルに打ち上げる。米と煮汁を加えて炊く。
手順④ ②ご飯が炊けたら具を入れ、１５分位蒸してから混ぜる。
手順⑤ 青豆を茹で、小さく切りご飯に飾る。

☆☆ 会のみなさんから一言 ☆☆

配食することで受給者の方々と触れ合う事ができ、美味しかったといわれるととても励みになっております。

また、毎年同じような献立となり、新しいメニューはないかと話し合っています。

今後は、私どもの活動に若い方々の参加を募っていきます。一緒にお弁当作りをしませんか？

中津市ボランティア・市民活動センターの登録状況

《 団体数 》
●ボランティア団体　・・・　１２２団体
●給食ボランティア団体　・・　３７団体
合計　・・　１５９団体

《団体ボラ活動者のべ数》・３，９８１名
《個人ボラ活動者のべ数》・・　６２７名
《ボラ活動者のべ数》・・・４，６０８名

（平成28年12月28日現在）

更新のお知らせ

平成２９年度ボランティア登録更新とボランティア活動保険加入のご案内を２月初旬に送付します。
随時受け付けします。

《提出物》
◆登録カード（グループ用）
◆名簿（年齢・性別・住所等）
◆ボランティア活動保険の申込み書・保険料

これからも来られる方がほっとでき、いろいろな情報提供が出来るよう、魅力あるボランティア・市民活動センターを目指していきます。

～あの人のボラとの出会い気になりませんか？～

ボランティアのルーツをたずねて…NO.10

佐藤 ナツコさん

ボランティア活動を通じて人とのつながりを深めています

山国町農協（ＪＡ）を定年退職の後、地域の先輩方に誘われて食推や生活改善グループに入り活動を始めたのがボランティアのきっかけでした。市の生活改善グループはなくなりましたが、山国町独自の生活改善グループとして継続し、平成７年から会長をさせてもらい、一人暮らしの弁当作りを２１年間続けています。また、商工会が主催する一人暮らしへの餅つきのお手伝いをして一人暮らしの方たちから喜ばれています。ＪＡ勤務中に生活指導員でしめ縄づくりの資格をとっていたので、高齢者学級や公民館で皆さんと毎年しめ縄を作るのが年末の楽しみとなっています。このほかにも、ゲートボールの審判、民謡クラブの山国木挽き唄の保存、民舞での施設の慰問など色々なボランティアをさせていただいていますが、そこで知り合えた方とは、親しさが増し、家族のような感覚になります。考えれば、ボランティアが私を支えてくれているような毎日です。８０歳になりましたが、まだまだボランティア現役中です。高齢化する山国地域で少しでも皆さんのお役に立てる活動を続けながら、自分も元気で勉強を重ねていきたいと思います。

情報コーナー

「ＮＰＯ水辺に遊ぶ会」は、国内有数の自然環境が残っている中津干潟を中心にその周辺の環境保全活動を行っています。今回は、魚料理教室を開催し、魚料理が大好きになってもらいたいと開催します。

① お魚ホネホネ教室

《と　き》１月２２日（日）　１０：００～１３：３０
《ところ》 南部公民館　調理室
《こうし》 須田　有輔 氏（水産大学校）
《参加費》ひとり５００円
《もち物》エプロン、三角巾等、使いなれたおはし、お茶、持ち帰り容器
※小学生以下のお子さんは保護者同伴でお願いします。また、完全予約制ですので早めに下記連絡先まで申し込みをお願いします。

② 海を渡る小さな鳥たちと中津干潟

地球をぐるりと旅をする鳥たちがいます。彼らは、旅の途中で中津干潟に立ち寄り、干潟の小さな生き物をお腹いっぱい食べて、また、飛び立っていきます。この小さな鳥たちがどのように中津干潟を利用しているのかについての調査報告会をします。

《と　き》２月１２日（日）　９：３０～１２：００
《ところ》 小楠コミュニティーセンター　集会室

①・②《申し込み・お問い合わせ》水辺に遊ぶ会　代表：足利
ＴＥＬ：0979-77-4396・ＴＥＬ：080-5248-7443
メール：info@mizubeniasobukai.org

第３次地域福祉活動計画づくり ～誰もが安心して地域で暮らすために～

地域福祉活動計画ってなに？

『地域福祉』という言葉は、私たちが地域でしあわせに暮らすことを意味しています。その実現のために、私たち一人ひとりが「しあわせ」や「ゆたかさ」を考えお互いに支え合っていく取り組みを『地域福祉活動』といいます。
第３次地域福祉活動計画は、平成２９年から平成３３年の５年間の計画となっており、住民主体の地域福祉活動を、地域の実情に合わせた形で計画的・継続的に実践していくことを目的として策定されています。

どんなふうに作ったの？

中津市では市内を１５地区に分け、地区ごとで住民参加のワークショップ（作業部会）を開催しました。その中で地域のさまざまな社会資源や課題などを整理しながら、２９年度から５年間で住民の皆さんが取り組んでいく内容を検討・具体化して、それぞれの地区の状況に則した計画を作りました。

☆こんな課題が出ました☆	☆こんな目標が立てられました☆
●空き家が多く、防災・防犯面で不安	●地域の防犯体制を再確認しよう
●災害時の対応が分からない	●地区ごとの防災訓練の実施をしよう
●頼れる身内がおらず困ってる人がいる	●相談窓口の周知活動を行おう
●世代間交流の機会が少ない	●世代間の交流の機会をつくろう
●後継者がいない	●若い人とのつながりを深める場を作ろう

※作業部会で出たさまざまなご意見の中から抜粋しています。

私たちにできることは？

それぞれの地区で立てた地域福祉活動計画を進めていくにあたっては、その地域に根ざしたボランティアの方々をはじめ、地域で暮らす住民一人ひとりの協力が不可欠です。
お住いの地区で立てられた計画（実践目標）がどのようなものかご確認いただき、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、皆さまのますますのご活躍を期待しています。
※計画の冊子は平成２９年度に配布される予定です。